

かわら版
令和7年7月

地域ケア推進会議

発行：燕市 長寿福祉課 地域支援相談チーム



【第1回地域ケア推進会議を開催しました】

令和7年7月31日(木) 午後1:30~3:00 会場：燕市役所 301 会議室

I 各部会の報告

総合事業部会

- ・「多様な主体が運営する集いの場」の安定継続的な運営及び新規立ち上げへの支援について検討する。
- ・人工透析患者の移動支援ニーズについてヒアリングによる現状把握と課題整理を行い、必要に応じて支援方針を検討する。

在宅医療・介護連携推進部会

燕市の看取りの現状を把握し、課題の抽出、取り組みの方向性を検討する。

認知症支援部会

新しい認知症観の普及と本人発信支援の充実について検討する。

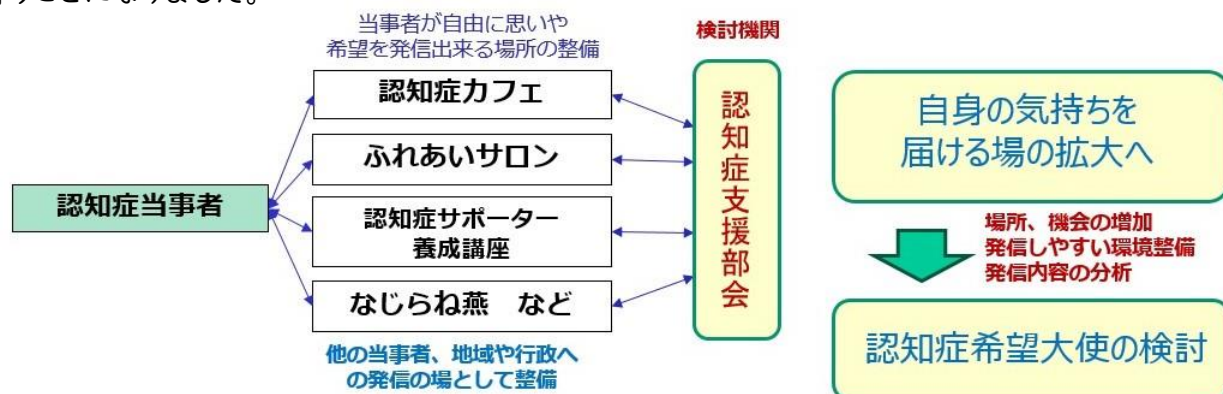
2 地域課題の検討【認知症当事者の本人発信支援について】

提言

おおまがり圏域では、小池中学校での認知症学習にて、認知症当事者が生徒や地域住民の前に立ち自身の気持ちを伝えた。この方を認知症希望大使に任命し、これからも認知症当事者の思いを地域へ向けて発信してほしい。

経過

令和5年度第2回地域ケア推進会議において、『燕市版認知症希望大使』の任命について検討しました。その結果、まずは認知症当事者が自身の思いを発信できる機会を増やすための環境整備を行うことになりました。



結論



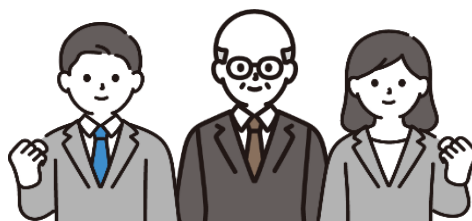
令和7年度第1回燕市地域ケア推進会議は、認知症当事者が自らの言葉で思いを発信する「認知症希望大使」の設置に対する提案が中心議題となり、その活動の意義や課題が委員間で話し合われました。最終的に、地域圏域ごとの「認知症希望大使」を設置する方向性で進むことが支持されました。

この取り組みは、地域住民の認知症への理解促進や、共生社会の実現などにつながる取り組みになることが期待されます。

懸案事項

① 本人負担の軽減

認知症希望大使として活動することが本人にとって負担が大きくならないよう、活動内容や頻度などを慎重に調整する必要がある。



② 活動の具体化

活動内容や頻度の詳細を詰め、身近な地域で無理なく発信できる環境を整える。

③ 支援体制の構築

認知症希望大使をサポートする協力者の確保や、支援体制を構築する必要がある。

④ 普及啓発の効果と意義

認知症希望大使の活動が地域住民に寄与する効果や、認知症希望大使の活動を行うことで認知症当事者の生活や病状などにどのような影響があるかを検証していく。

今後の取り組み

※認知症支援部会を中心に検討予定

- ・地域圏域ごとで複数の認知症希望大使を設置する案を具体化し、各地域で活動が開始できるよう準備を進める。
- ・活動の仕組みや条件などの詳細を検討する。
- ・関係者の意見をさらに集約し、活動内容や現場での課題を共有して政策に反映させる。



【次回会議スケジュール】（後日改めてご案内いたします）



令和7年度
予定

総合事業部会	R7.9.29 13:30～	会議室 101・102
在宅医療・介護連携推進部会	R7.9.26 13:30～	吉田産業会館
認知症支援部会	R7.9.25 15:00～	会議室 201



発行：燕市健康福祉部 長寿福祉課 地域支援相談チーム
TEL:0256-77-8157 FAX:0256-77-8138